

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2024年6月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	カワマ 川間	ラキ 羅聖	生年(西暦)	1997年	
氏名(英字)	KAWAMA	Raki	メールアドレス	rkawama156413(a)gmail.com	
学歴	2015年4月 同志社大学スポーツ健康科学部 入学 2019年3月 同志社大学スポーツ健康科学部 卒業 2019年4月 筑波大学大学院人間総合科学研究科 体育学専攻 入学 2021年3月 筑波大学大学院人間総合科学研究科 体育学専攻 修了 2021年4月 同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 入学 2023年1月-4月 ゲント大学(ベルギー)へ短期留学 2023年9月 同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 修了				
職歴	2021年4月-2023年9月 日本学術振興会特別研究員 DC1 2023年10月-2024年3月 日本学術振興会特別研究員 PD(学位取得による資格変更) 2024年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構 特別任用助教(有期研究員)				
指導教員	北條 達也 教授	取得学位	博士号(スポーツ健康科学)	専修外国語・ 読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	トレーニング科学・生体ダイナミクス				
科研費分類による研究分野	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野				
研究テーマ	筋力トレーニングが受動的な筋の硬さに及ぼす急性的および慢性的影響				
研究概要	本研究では、筋力トレーニングで筋力や筋量を増加させながらも受動的な筋の硬さを慢性的に減少させる方策を確立するために、筋力トレーニングが受動的な筋の硬さに及ぼす急性的および慢性的影響を検討する。これまでに、伸張性収縮(筋が伸ばされながら力を発揮する収縮様式)のみを伴う筋力トレーニングを長い筋長および長い動作時間の組み合わせで週あたり3回の頻度で10週間実施すると、筋量が増加し、特定の筋(ハムストリングスの半膜様筋)における筋量が増加、硬さが減少することを明らかにした。一方、半膜様筋以外の筋の硬さは変化せず、個人差も大きかった。そのため、今後の研究では、ハムストリングス全筋の硬さを減少させる、筋の硬さ変化の個人差を埋めるためのトレーニング方策を追求する。				
研究業績	https://researchmap.jp/RakiKawama				
所属学会	日本トレーニング科学会、日本体力医学会、日本バイオメカニクス学会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学)				
進路					
自己PR	博士課程在学中より、主に筋力トレーニングが筋の硬さに及ぼす影響について研究をしております。研究キャリアを通して、スポーツの現場での常識を変えられるような発見をしていければと考えております。また、2024年度より、スポーツ健康科学部「基礎実習(副担当)」、「スポーツパフォーマンス実習(アスレティックス)」などの科目も担当します。				
取得資格等	教員免許(保健体育・高校)				

※メールアドレスの(a)は@を表しています